

## 予 算 要 求 資 料

令和8年度当初予算

支出科目 款：教育費 項：保健体育費 目：学校健康教育費

## 事業名 学校環境衛生設備整備費

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

教育委員会 体育健康課 学校保健係 電話番号：058-272-1111(内8716)

E-mail : c17769@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 1,057 千円 (前年度予算額： 1,104 千円)

## &lt;財源内訳&gt;

区分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使 用 料 手数料	財 産 入	寄 附 金	そ の 他	県 債	一 般 財 源
前年度	1,104	0	0	0	0	0	0	0	1,104
要求額	1,057	0	0	0	0	0	0	0	1,057
決定額									

## 2 要求内容

## (1) 要求の趣旨(現状と課題)

学校保健安全法に位置付く学校環境衛生基準に基づく検査に必要な機器については当課が購入し、7地区の拠点校(岐阜商業高、大垣工業高、武義高、加茂高、東濃フロンティア高、中津高、飛騨高山高岡本校舎)に配備している。

検査機器について使用状況、経年による故障等を拠点校で実地確認し、状況を把握することともに、検査機器を定期的に更新・校正・修繕することで、適正な検査を実施する。

## (2) 事業内容

- ◆拠点校に配備した学校環境衛生検査機器に係る校正費用
- ◆拠点校に配備した学校環境衛生検査機器の修繕費
- ◆拠点校に配備した学校環境衛生検査機器の実地確認旅費
- ◆拠点校に配備した学校環境衛生検査機器等に係る消耗品費
- ◆拠点校に配備した学校環境衛生検査機器等の備品購入費

### (3) 県負担・補助率の考え方

県 10／10

県立学校で実施する各種検査を行うために機器の確認、消耗品費及び校正・修繕費用を県が負担するのは妥当。

### (4) 類似事業の有無

無

## 3 事業費の積算 内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
需用費	362	消耗品費
役務費	80	検査機器校正
備品購入費	615	検査機器更新
合計	1,057	

### 決定額の考え方

## 4 参考事項

### (1) 各種計画での位置づけ

#### ・第4次岐阜県教育振興基本計画

施策IV 「学びの多様なニーズに応える環境」の充実  
20 将来を見据えた魅力ある学校づくりの推進

・県立学校（83校）の児童生徒の健康を保護する上で維持されることが望ましい基準（学校環境衛生基準）を適正に検査するために、確認及び校正を実施する必要がある。

### (2) 国・他県の状況

### (3) 後年度の財政負担

検査機器の定期的な更新及び調整（校正）・修繕に係る予算が必要である。

### (4) 事業主体及びその妥当性

県立学校（83校）の児童生徒の健康を保護する上で維持されることが望ましい基準（学校環境衛生基準）を適正に検査するために、確認及び校正を実施する必要がある。

# 事 業 評 価 調 書 (県単独補助金除く)

新規要求事業

継続要求事業

## 1 事業の目標と成果

### (事業目標)

- ・何をいつまでにどのような状態にしたいのか

7地区の拠点校に配備した学校環境衛生検査機器を確認し、校正を実施する。また、耐用年数の経過した機器について、順次更新を行う。

### (目標の達成度を示す指標と実績)

指標名	事業開始前 (R )	R 年度 実績	R 年度 目標	R 年度 目標	終期目標 (R )	達成率
①						
②						

### ○指標を設定することができない場合の理由

検査機器の精度調整（校正）等、整備に要する経費であるため、目標設定することはなじまない。

### (これまでの取組内容と成果)

令和 4 年 度	拠点校と体育健康課所有の検査機器の校正を実施した。機器の校正を行ったことにより、正確に検査が実施できるようになった。
令和 5 年 度	拠点校と体育健康課所有の検査機器の校正を実施した。機器の校正を行ったことにより、正確に検査が実施できるようになった。
	指標① 目標：_____ 実績：_____ 達成率：_____ %
令和 6 年 度	拠点校と体育健康課所有の検査機器の校正を実施した。機器の校正を行ったことにより、正確に検査が実施できるようになった。
	指標① 目標：_____ 実績：_____ 達成率：_____ %

## 2 事業の評価と課題

### (事業の評価)

#### ・事業の必要性(社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断)

3：増加している 2：横ばい 1：減少している 0：ほとんどない

(評価) 2	学校環境衛生基準により、環境検査が義務付けられており、適正な検査が必要である。
・事業の有効性(指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか)	
3：期待以上の成果あり 2：期待どおりの成果あり 1：期待どおりの成果が得られていない 0：ほとんど成果が得られていない	
(評価) 2	検査機器の定期的な更新、校正及び修繕をすることにより、検査精度を維持していく。
・事業の効率性(事業の実施方法の効率化は図られているか)	
2：上がっている 1：横ばい 0：下がっている	
(評価) 2	県内の各地域において、検査機器を利用しやすいように拠点となる学校に配置しており、利便性を高めている。

### (今後の課題)

#### ・事業が直面する課題や改善が必要な事項

機器の故障等による検査未実施を防ぐため、機器の更新計画をたて、定期的に機器を更新していくことにより、検査及び検査精度を維持していく。

### (次年度の方向性)

・継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか  
今後も定期的な検査機器の更新及び機器校正を実施することにより、検査の実施及びその検査精度を維持していく。

### (他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

組み合わせ予定のイベント 又は事業名及び所管課	【○○課】
組み合わせて実施する理由 や期待する効果 など	